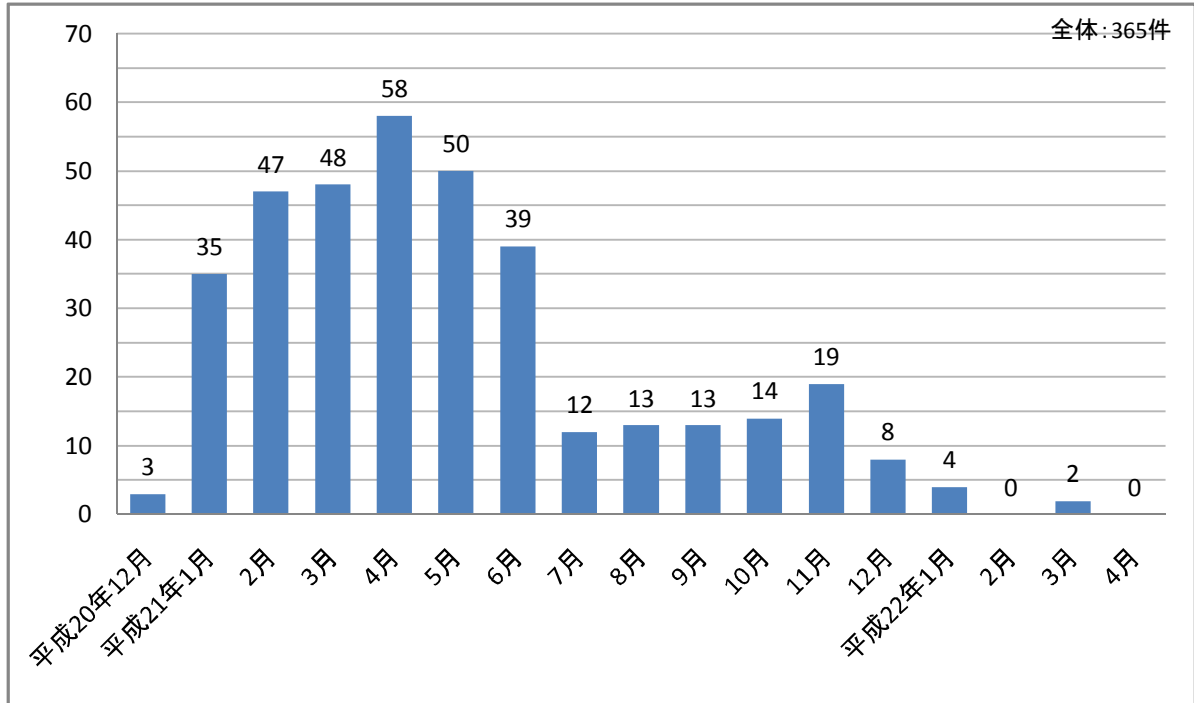
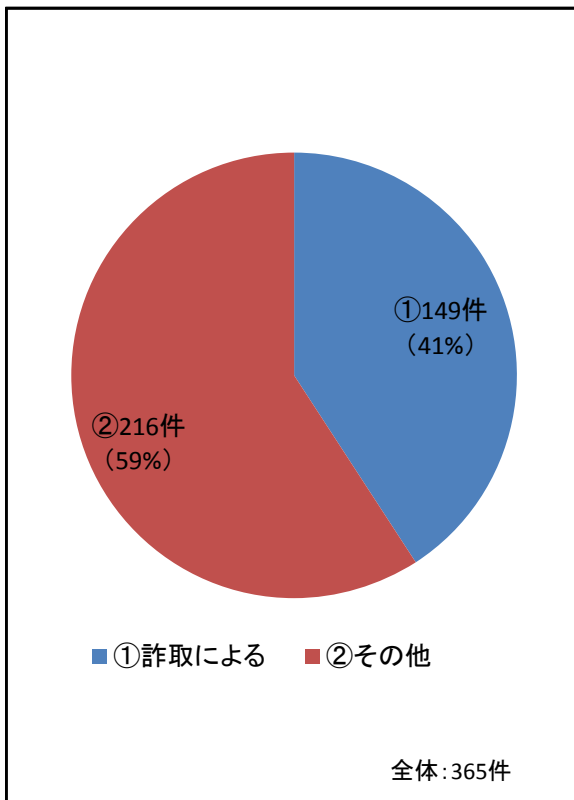


就職安定資金融資の悪用事例の概要

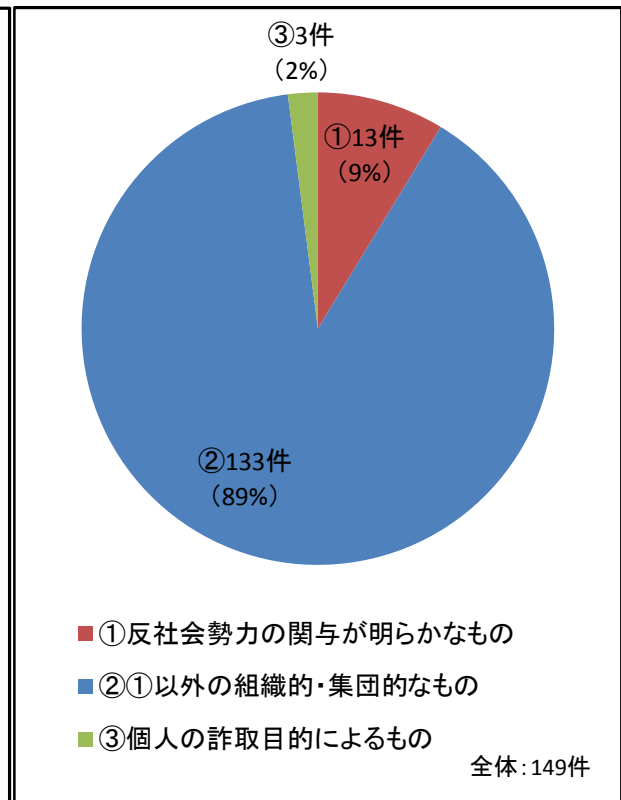
1. 悪用事例の発生時期



2. 悪用事例の内容



3. 詐取の態様



4 不正の手口

事例1（平成21年2月～7月に融資）

暴力団の構成員とみられる者が、不動産媒介業者と共謀して貸付金を詐取。

事例2（平成21年3月～6月に融資）

不動産媒介業者と共謀し、架空の住宅などで入居住宅等に関する関係書類を偽造し、貸付金を詐取。

事例3（平成21年4月～7月に融資）

自らを行政書士と偽り、架空の社宅住所や入居予定住宅を偽装し、失業者を募り、貸付金を詐取。

事例4（平成21年5月～9月に融資）

暴力団の構成員とみられる指南役の下、離職事実や入居住宅を偽装し、ハローワークから不正に証明書を取得し、貸付金を詐取。

事例5（平成21年6月～12月に融資）

事業所の社印を偽造し、「離職・住居喪失証明書」を偽造し、貸付金を詐取。

5 発覚の経路

